



# いなばひがし

社協

VOL. 25

平成28年3月15日発行

各務原市社会福祉協議会  
稲羽東地区



会長 善昭  
足立

## 一年を振り返つて

日頃より、稲羽東地区社協会員の皆様には深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年度会長という大役をお任せ付かり、自身不安で出発いたしましたが、地域の皆様、役員の皆様、市社協の関係者の皆様の支えがあり、今期計画の事業が盛況に終える事ができました。

諸活動を通して、数多くの体验又多くの人との出会いがあり、多くの強めをさせていただきました。少子高齢化がさけばれて久しいわけですが、当地区もその様になつております。地域の人と人とのつながりも、少々希薄な状況がうかが

本年度は支部社協から地区社協へと名称が変わった初年度でした。それぞれの地区が地区ごとに合つた活動が出来「地域づくり」がしやすくなる様にとの目標の移行です。

少子高齢化がさけばれて久しいですが、当地区もその様になつております。地域の人と人とのつながりも、少々希薄な状況がうかが

われます。その様な中で、ボランタリーハウスの立ち上げが一件ございました。「ボランタリーハウスやぐま」です。「楽しくおしゃべりをしたり、知らない事を気安く話し合える場にしたい」地域づくりの一歩になる事を期待します。

前年度より引き継ぎました「緊急連絡先カード」の配布も年度頭に各自治会にご協力をいただき一回目の配布を行いました。又年末には好評につき再配布をさせていただき今後も役立てていただける事をと思います。

お互いに助けたり、助けられたり、支えあう地域になつて行かねばなりません。地域の皆様に「幸せですか」と問い合わせ掛けたら「幸せです」と返事が来る様になればと願うばかりです。社協の活動に一人でも多くの方が参加していただき、各務原市が目指す姿「ささえて、ささくれり」に触れていただきたいと思ひます。

一年間、本当にありがとうございました。地域の皆様の今後のご多幸を祈念申し上げます。

9月	8月	7月	6月	5月	27年4月
〃 2015 6	22 18 〃 16	〃 24 〃 19	〃 21 〃 20 2012	31 〃 17 12 8	25 23 〃 19 14
カローリング大会(社協共催)	*横断旗点検 各務原市福祉フェスティバル 理事会(第6回) 家族みんなで走ろう会	*社会福祉協議会賛助金募集 福祉座談会(第5回)	元気に歩こう会 地域子育て支援夏祭り(三世代交流会)	*横断旗点検 近隣ケアグループ研修会 高齢者ふれあい交流会 理事会(第3回) 家族みんなで走ろう会	理事会(第1回) 地区総会 地区会長・福祉推進員合同会議 元気に歩こう会
3月	2月	28年1月	12月	11月	10月
27 26 〃 20 〃 15 8	〃 21 19 16	19 〃 17	〃 20 〃 13	21 〃 17 15	28 20 〃 18 4
理事引継会	地区監査 第33回ジヨギング大会	理事会(第11回) 元気に歩こう会	元気に歩こう会 地区会長・福祉推進員合同会議	家庭みんなで走ろう会 元気に歩こう会	*市民福祉講座 市民運動会 各務原市社会福祉大会 全国ボランティアフェスティバル

## ○12月13日(日)歳末たすけあい交流会



第一部では、市民講師の宇野佳代子氏のチームに所属の「ウキウキワクワクダンス」の艶やかな踊りに参加者も一緒になつて踊り和やかで、若返った気分になりました。

第二部では、市職員の出前講座「認知症について」がありました。認知症防止には、まず「カラダ作りから」とことで考えながら手足を動かす運動をみんなで実践しました。

また、認知症は非常に身近な問題でもあります。質疑応答には熱気があふれていました。

最後に参加された人たちは、久しぶりに会つた人たちと会話が弾み、楽しい一日を過ごしていました。

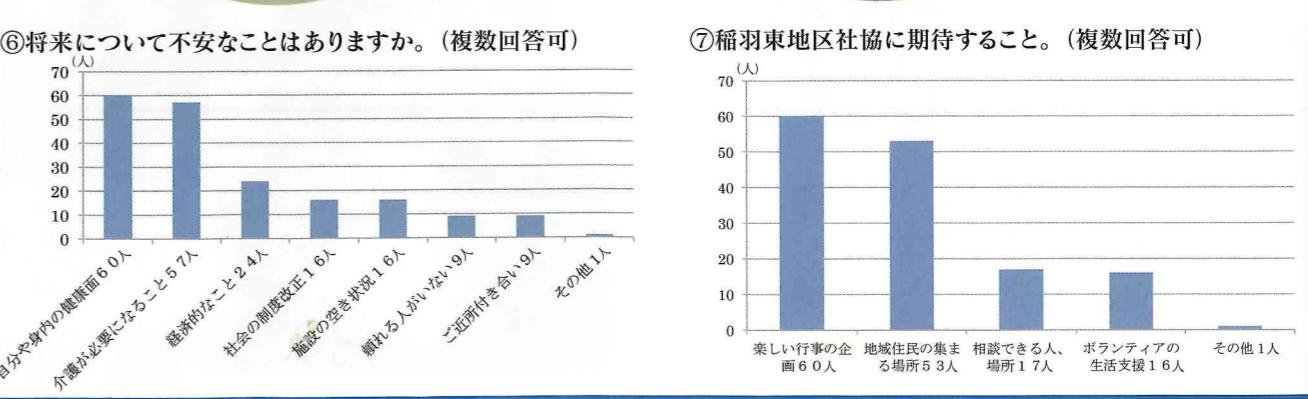
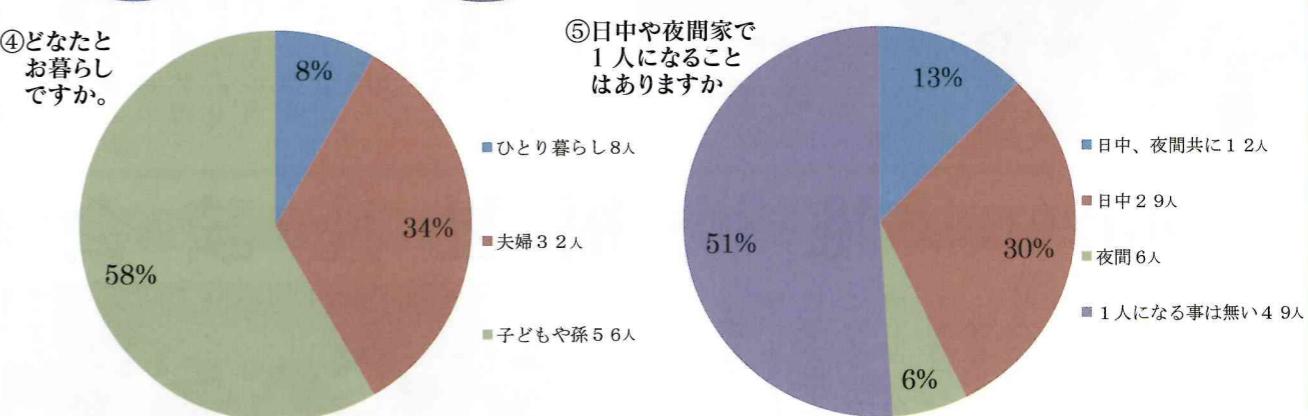
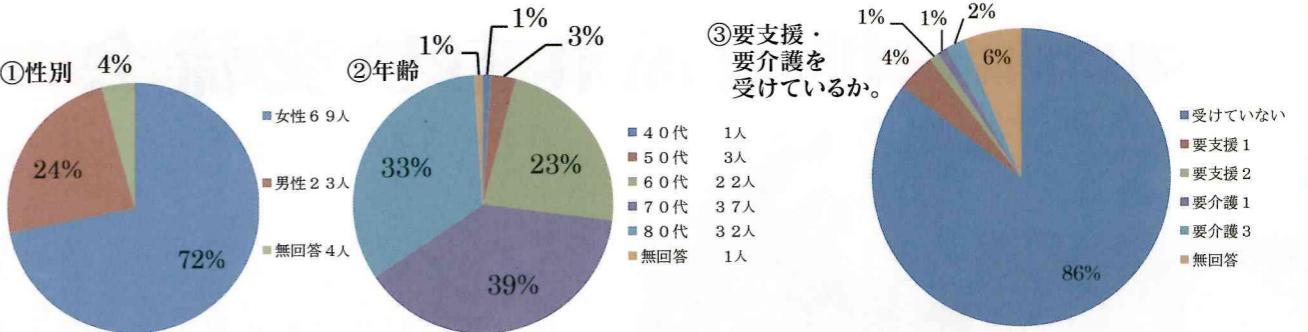
高齢者世帯が増える中で、地域や家庭における人ととのつながりが重要な要素となっています。

お互いの助け合い精神がより強く求められている世の中になりました。年の瀬も迫つたこの時期、高齢者の皆さん、「地域たすけあい交流会」に多数の参加をいただきました。

第一部は、市民講師の宇野佳代子氏のチームに所属の「ウキウキワクワクダンス」の艶やかな踊りに参加者も一緒になつて踊り和やかで、若返った気分になりました。

## 稲羽東地区社協アンケート集計

地域の皆さんからアンケートにご協力いただきましたのでご報告いたします。



## ○6月20日(土) 高齢者ふれあい交流会



高齢化率の上昇とともに、世帯レベルでも「高齢者世帯」の増加が著しい今日、それぞれの意識レベルでの同居意向は高齢者側でも子ども夫婦側でも強いのだが、現実的には子どもの職業による都合が優先されるために、高齢者夫婦とは、別居を余儀なくさせられるのが現状です。

当稲羽東地区の高齢化率は28.8パーセントと各務原市全体の24.8パーセントと比べて高い比率となっております。この様な環境の中、地域社会と家庭における人と人とのつながりが希薄化しており、より地域でのふれあい・支えあいが求められております。

今年も七十五歳以上の高齢者と六十五歳以上の人暮しの人を対象として「高齢者ふれあい交流会」を開催し、百名近い方の参加を得て、楽しい想い出の一日を創出しました。

催し物は二部構成で開催いたしました。

一部は、市職員出前講座「高齢者の交通安全対策、自転車規制等」で、新しく改正された道交法・自転車規制について学び、「自分の身は自分で守る」との意識の高揚に努めることを自覚した一日でした。

二部は、「芸披露のボランティア」「ブルーベース」により全員参加でバンド演奏に合わせ、童謡・歌唱・歌謡曲・ラテン等の歌を全員で合唱し、歌いながら踊りを楽しむひと時を過ごしました。

今後は、この稲羽東地区の歴史・伝統芸能等を体験されている高齢の方々に、このような場で伝承いただけることより地域との密着を図つていけるのではないかと思ふ皆さまのご参加を期待しております。

## ○5月8日(金) 茶摘み会



稲羽東小学校の伝統行事、茶摘みが行われまして、児童、PTA、身まもり隊、社会福祉協議会員や隣の方の協力、そして多くのボランティアの皆様の協力を頂き、相当量摘むことが出来ました。

ご協力ありがとうございました。

今年度は「お茶の木すくすく育て隊」と言う会も出来、今後長く続けられることと思います。

## ○7月24日(金) 地域ふれあい交流会



地域ふれあい交流会の一環として、最初に前宮保育所の夏祭りがあり、盆踊り・ゲームコーナーなど多彩な催しを親子で楽しみたいに盛り上がりました。その後、体育馆で社協による催しがあり、「ほほえみ会」の皆さんのお話術による白雪姫の演劇を、園児・小学生たちは、人形が話すのにびっくりしながら、興味津々に觀っていました。最後には子どもたちの中に入つて目の前で腹話術を披露、人形と会話する子もあり大変盛り上りました。

夏の夜のひとときを三世代の皆さんが楽しみました。

## ○8月22日(土) 地域福祉座談会



地域には一人暮らしの高齢者の方、また家族がいても昼間は、「一人になりがちの方、さまざまな問題があり暮らしの中で困っている事、不安に思つている事等、個人情報や守秘義務で隣人の方と話し合う機会も少なくなつてゐるところ、具体的にどのような事に地域で古くから伝わつてゐる良い所、これからも続けていくためにはどうしたら良いのか。安心して楽しく暮らせる町に少しでも近づけるためには自分達の町をよく知る事、自分の近くにはどんな方がおられるか、ひざを交えて話し合いました。同じ地域に住んでいるからこそ出来る見守り、声かけ活動で支え合う気持ちが大切だと思いました。

それぞれの意見や感想を述べ合う意義のある座談会になりました。

## ○6月12日(金) 近隣ケアグループ研修会



近隣ケアグループの活動は、地域において声かけや見守りを通して支援が必要な人を地域で支える取り組みです。

今年は社協本部依頼の専任講師青木文子先生をまねき、高齢化社会が進む中、社会を取り巻く変化や高齢者の消費者トラブル、成年後見事業などについての講演をしていただき後、「悪徳商法よさらば」で悪徳商法の手口や被害状況、その対処方法について寸劇を交えて学びました。

地域社会の人と人とのつながり・支援を大切にしていきましょう。